

表情豊か 気持ち伝達

表情やアイコンタクトで表現する大切さを伝えた
善岡さん (左) 焼津市総合福祉会館



焼津市、手話条例制定記念

焼津市は2日夜、手話言語条例制定記念として、ろう者と健常者がともに創作する人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」代表の善岡修さん(42)＝神奈川県＝宮町＝を講師に招いたワークショップを焼津市総合福祉会館で開いた。

(焼津支局・尾原崇也)

ろう者講師とゲーム

自身もろう者の善岡さんは、障害に関係なく人とのコミュニケーションには目と顔を合わせ、気持ちを通わせることが大切だと訴えた。

市民約40人が参加し、表情とアイコンタクトで相手に意思を伝えるゲームに挑戦した。床にボールをばらまいた上で顔の動きだけで拾うボールを指示し、声や手の動きがなくても意思が伝わることを確認した。善岡さんは「手話が得意でなくても、気軽にろう者とコミュニケーションをとってほしい」と呼び掛けた。

同条例は手話を言語

と位置付けて市民に理解や普及を促進する内容で、4月に制定された。

普及リーフレット

モデルに青木さん

焼津出身アイドル

焼津市はこのほど、

人気アイドルグループ

PSK E48のメンバー

1でやいづ親善大使の

青木詩織さん＝同市出身＝をモデルに起用

した手話普及リーフレットを作成した。市

立学校の小学4年生

中学3年生に配布する。

A5判4ページ。青木さんが「おはよう」「さようなら」など、あいさつを手話で表現している様子を掲載し、「手話で伝え合い、みんなが生き生きと暮らせる町にしよう」と呼び掛けている。手話を学ぶことができる市内のサークルも紹介している。

問い合わせは市地域福祉課へ電054(626)1127へ。



PSK E48の青木さんをモデルに起用した
手話普及リーフレット